

令和8年度  
(30期生)

入校案内

# 建築大工訓練校



見学者歓迎 / 7月～8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

濃飛建設職業能力開発校



校長 榎間博幸

本校がめざす訓練教育は、「常に意欲とおもいやりの心で」を校訓として、人に対するマナーとかけがえのない地球に対するマナーをしっかりと身につけることである。

そして、現代社会をとり巻いている偏差値教育にはっきりと決別することです。これは、優れて多様な価値観を評価する日本社会に求められる大切な視点です。すなわち、訓練生と経験豊富な指導員・講師との会話の中からプロになるために自発的に鍛錬するよう仕向けています。

本校が目指すのは、施主様の夢を叶える家造りは木造建築が自然資源を活用した健康住宅として優れた技術があり、従来の軸組工法は「匠の技」によって受け継がれ、その技術は幅広く、奥深い、極めれば限りないほどの工法があります。その第一人者としての大工さんを「匠」の卵として育成することです。

あなたも地球環境に優しい家造りの専門大工「匠」を目指して、仲間と共に頑張ってみませんか。

# 入校課程

## 入校資格

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟建築事業所へ雇用されている場合、給料を得ながら学べます。  
(協会に加盟していない事業所は、加盟する必要があります。)

## 学習科目

建築施工系 木造建築科 (2年課程)

|     |       |      |
|-----|-------|------|
| 学 科 | 系基礎学科 | 専攻学科 |
| 実 技 | 系基礎実技 | 専攻実技 |

## 集合訓練

毎週水曜日だけ訓練校で訓練を受ける。  
(年間/約50日)

## 分散訓練

雇用事業所において、毎週1日指導資格のある者に実技訓練を受ける。  
(年間/約40日以上)

## 指 導

誇れる、14名の指導員・講師の先生が親切に教えます。

## 技能照査

規定により、岐阜県知事より技能照査合格証書と技能士補の称号が与えられます。

## 修了証書

規定により、岐阜県知事より訓練を修了した証が交付されます。

## 資格取得 に利点

- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利

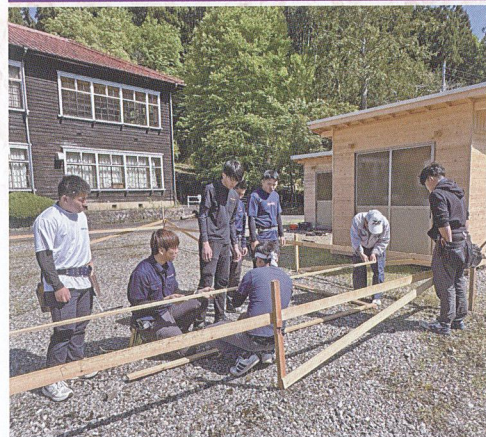
## 建築CAD の短期訓練

パソコンソフトによる住宅建築設計の技術が習得できます。

## 技能検定 事前講習会

1～2級技能士(建築大工)の検定の講習会を実施しています。(5日間)  
(本校訓練生以外の方でも可)

## 実習風景



## 倉庫の建て方 / 実習訓練



令和2年度技能五輪全国大会(愛知県国際展示場)  
本校訓練生(2年生)出場



理事長

藤井保明

今、居住環境が、自然・健康・安全を重点に見つめ直されています。人生の大半を過ごす住宅では木に対する建築が見直され、安全で健康に優れた住宅づくりが要求され、伝統の従来工法が新しい型で展開されています。

私たちは、古来からの「匠の技」を駆使しながら、新しい形での住宅建築産業に貢献しております。伝統の家造りは、この「匠の技」無くしては成り立ちません。

本校は、開校以来 29 年目を迎え、160 名の匠の卵を建設業界に送り出し、その多くが棟梁として活躍し、伝統の「匠の技」を駆使して、本格的木造住宅建築に励んでおります。

老齡化等で益々減少していく日本伝統の本格木造住宅の担い手「匠」を育成し、高度な技術を伝承する人材を育てることが、当訓練校の使命です。

本校において、その人材となり「匠の技」を学びたい君たちの入校を待っております。

実践技術が  
習得できる!

建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!!  
働きながら実力が身につく

## ■ 本校の課程を経て 訓練終了生(第27期生)感想文



2年間を通して

半 永 恭太郎

(株)三和木

まず初めに、2年間この濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えていただいた株式会社三和木の関係者の方々に感謝申し上げます。

そして、丁寧に分かりやすく指導してくださった指導員の先生方、本当にありがとうございました。

私は、高校を卒業して株式会社三和木に入社させて頂き、初めは、大工として上手くやっていけるのか、技術や知識などを身に付けてしっかりと成長していけるのかなど、不安がありました。しかし、2年間大工学校の同期の仲間たちと過ごしていく中で、普段どういう仕事をしているのか、どういうことに気を付けているのかなど、仕事の話をしていき、そうした入社してから不安もやわらいでいきました。

私は2年間大工学校に通わせていただく中で多くの思い出を作ることができました。

1つ目は、1年生の時に建てた倉庫です。一から自分たちで墨付けをし、加工をして、組立てをしました。今の普段の仕事の建方ではプレカットばかりで現場で組み立てるだけということがほとんどです。しかし、倉庫を通して、一つ一つの材料に墨付けをする大変さ、付けた墨どおりに正確に刻む難しさを学ぶことができました。この経験を1ヶ月ほど前に現場の増築部分の墨付け、刻みにしっかりと生かすことができました。

2つ目は、棒隅木課題です。初めに製図をしました。とても複雑で難しく、中々理解することができませんでしたが、仲間たちと互いに相談しあって協力し、無事に製図を書くことができました。その次に墨付け、加工をしました。製図で理解できていたつもりでしたが、実際に木材に墨を付けるとなるとまた別で、とても苦戦をしていました。加工に入ると、木をさわる事が好きな性格から、楽しく、スムーズに進めることができました。

この2年間を通して、普段現場では学ぶことのできない多くの技術や知識を学ぶことが出来ました。大工学校で学んできたことをこれからの仕事に生かしていけるよう努力していきたいです。

最後になりますが、2年間とても有意義な時間を与えてくださった学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



大工学校で  
学んだこと

宇田 尋 音

(株)三和木

2年間大工学校に通い一番力を入れたことは、技術面です。入社してすぐの頃は、自分の成長への不安がいっぱいで悩むことがありました。しかし、作業をしだすと不安よりも楽しさの方が大きくなり不安は一切なくなりました。それだけでなく、より高い技術を身につける為に自分の道具の手入れもより一層力が入るようになり、鑿や鉋にも興味が湧き始めました。

僕が実習において一番気を付けたことは鉋がけです。理由は、お客様や先生方等の他者からの評価において、第一印象で良い作品だなと思ってもらえるようにするために必要だからです。もちろん、ほぞや蟻といった加工がしてある場所のすき間や段差がないことも重要なことではありますが、見た目や手触りは評価の出だしの部分でかなり重要と言えます。どれだけぴたりくっついていても手触りがボソボソだったり、見た目でザラついているようなものではその作品の期待度は下がります。鉋がけという一つの作業だけでも高い水準で出来ているかどうかは雲泥の差です。だから僕は鉋がけを実習において一番大事にしました。

実習での成長を活かした作業は色々となりましたが、中でも結果が目に見えたのは大工技能検定2級の試験です。

僕は鉋がけの時間が他の受験者の2倍ほどかかっており、他の作業に割く時間が少なくなっていました。しかし妥協はしたくなく、鉋がけ以外の作業の時間を短くしようと練習に取り組みました。練習では試験時間内に完成することが数回しかありませんでしたが、本番では試験時間ちょうどで終わり合格を頂くことができたので大きな達成感を味わうことができました。

まだまだ改善点もたくさんあり、鉋がけにかかる時間であつたり鉋くずの適切な厚みはまだ完璧とはほど遠く、これから磨いていくのが楽しみです。

また、これからは高い完成度で早い施工が求められるので、気を引き締めて誰からも認められる大工になれるよう頑張っていこうと思います。



## 大工学校での 2 年間

山 田 結 良

(株)カネダイ

まず初めにこの濃飛建設職業能力開発校に2年間、通う機会を与えていただいた学校関係者、カネダイの皆様、そして指導してくださった先生方に感謝申し上げます。

私はこの2年間で多くの事を学び、成長したと感じています。中でも、実習でのものづくりと技能五輪出場ということに関しては大きく成長するきっかけになったと思っています。

実習については、2年間を通し実際に現場で使う技術の取得、普段の日常生活に使用する小物などさまざまな事を学ばせていただきました。

その中でも、印象として残っている事はイス作りです。このイス作りは1年間の集大成として、1年生と2年生の終わりに試験という形で製作するものです。

1年生の時に作ったものは正直、こんな失敗だらけの物が受かっていいのかと恥ずかしい思いをしたのをいまでも覚えています。そこから1年、自分の技術に自信を持って作ったイスは胸を張れる物だったと思います。

そこまで自信がついたのは、やはり技能五輪に出場させていただいたことが大きかったです。五輪に関しては、本当に色々な人に助けられました。会社の方々や学校の先生、講師として教えてくださった佐口さんにはとても感謝しています。

技能五輪で出された課題はとても難しく、理屈から理解するのも大変でした。また図面だけでなく加工や組立でもあまりやらないやり方が多かったので、苦労したのを今でも鮮明に覚えています。大会での結果は完成までいくことができませんでした。ですがそこで得られた経験と技術はまちがいなく今後の大工人生に生かされる事だと思います。

最後になりますが、現場では学べない大工の技術や技能、知識、知恵を知ることができ有意義な2年間でした。この得られたものを今後の仕事にも活かしていきます。

学校関係者の皆様に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



## 大工として

長 瀬 優 真

(株)新和建設

私は、小さい頃から物作りが好きでよく木材を用いて本棚などの物を作っていました。いつの日か木を使って大きな物、人のためになるものを作りたいと思い、『大工』という職業に憧れを持つようになりました。工業高校を出てありがたいことに新和建設さんに入社することができました。改めまして、雇ってくれたこと、本当にありがとうございます。2年前の入社の日から、私の大工としての人生がスタートしました。

入社してから2年間通う濃飛建設職業訓練校では、私の同期としてその年に入校した大工さんとして7人の最高の仲間と出会いました。学校ではこの7人と切磋琢磨しながら、互いに助け合い、時には競い合い、技術、知識を高めていきました。私は、頭がそれほど良いわけではなく、講師である杉山先生を始めとする先生方に规矩術や図面の書き方、各家の部分の名称などを教えてもらっても、最初はなかなか理解ができず、戸惑い、自分の身にならない、なっていないと感じることが多々ありました。そんな時に助けてくれたのが同期のみんなでした。分からない所があると全員でその問題に向き合い、全員で助け合い解決をしました。技能の実習の時には、椅子や様々な継手などを製作しました。その時には全員で競い合い、誰が一番きれいにできるか、早く完成することができるか、それぞれの知識や教えてもらった技術を使い、集中して取り組むことができました。

このメンバーで旅行にも行かせてくださいました。京都と滋賀に行き、京都では古い建造物を見て、滋賀ではおいしいものをたくさん食べました。また、普段見ることができない仲間の姿をたくさん見られて、お互いの仲ももっと深めることができました。一生忘れられない思い出になりました。

この2年間、大工いうものを知らない私に大工を教える機会をくれた会社、訓練校に携わっていたいた榎間校長を初めとする先生方に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私は、学校を卒業し、大工という職人の道に進んでいきます。私は、この学校で学んだ知識、技術を一生胸の中に込め、この道を極めていきます。

2年間本当にありがとうございました。



## ここでの2年間

小 栗 陸 豊

(株)新和建設

まず初めに、この濃飛建築職業能力開発校に2年間も通う機会を与えていただいた会長、親方、新和建設の皆様、そして指導して下さった先生方に感謝申し上げます。

私がこの2年間で特に印象に残っているのは、1年生の時に建てた倉庫です。現在、私達の現場では、ほとんどの建材がプレカットによって加工されており、材料を刻むという事があまりなかったです。ですがこの倉庫では、一から自分達で加工、墨付けをするという貴重な経験をすることができました。

この加工を通して、ノミや鉋、ノコギリの使い方を学びました。普段現場でノミや鉋を使うことがなく、いざ倉庫作りで使う時、まったくいい仕事ができず、普段使う、大工道具の手入れの大切さ、その場面だけ使うのではなく、いつでもいい仕事ができるように、常日頃から、道具の手入れをする事の大切さを学ぶ事ができました。

他には墨付けの中で、ひとつでも部材の墨を間違えると、その部材に関連する所が合わず、建物が建たなくなってしまう。実際、倉庫作りでも、柱の向きを間違えてしまったり、ほぞの向きが合わない場面があり、建て前中作業を止め、建て前が進まなくなる時がありました。その中で学んだ事は、今から作るものの完成形をイメージし、どうゆう墨をすればいいのか頭で考えながら一つ一つの作業を正確に行い、自分の中で、確実に、大丈夫と思うまで確認してやるという事を学びました。

そして、倉庫が形になった時は、今までに感じた事のない達成感を味わうことができ、一緒に作業をし、話し合って切磋琢磨した7人の同期には、感謝しかありません。

この2年間を通して、現場では体験することができない多くの大工技術、知識、知恵、そして楽しさを学びました。この経験を生かし、将来みんなから信頼され、お客様に喜んでもらえる確かな技術を持った大工になっていきます。最後になりますが、2年間、有意義な時間を与えてくださった学校関係者の皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## この2年間を通して

大野 空

(株)新和建設

僕はこの2年間大工学校に通い現場で仕事をして思ったことは、まず始めに入学から右も左も分からない状態で入社をし、初めてやる仕事や仲間に不安もありました。しかし仕事ではだんだん親方などに教えてもらって出来ることが増えていき、うまく出来た時に喜びを感じることが出来るようになっていきました。また大工学校では、始めは知らない人同士でうまくやっていけるのか心配でしたが、協力して一つのことをやっていくたびにお互いのことを知ることが出来、打ち解けることが出来ました。

仕事についてやる事が分かってくると、課題が見えるようになってきました。先輩や親方と仕事をしていると技術の差やスピードの差があることが分かり、自分もこの技術量やスピードで仕事出来るようになりたいと思うようになりました。今は先輩たちのように仕事出来るように、よく先輩の仕事を見て自分の作業の仕方とどこが違うのかに注目しながら仕事を行っています。

僕がこの大工学校で思い出に残っていることが2つあり、倉庫作りと修学旅行です。まず倉庫作りでは、自分は手刻みの仕事は得意ではありませんでした。加工をしても蟻やほぞに隙間があいてしまい決して上手とはいえませんでした。しかしこの2年間を通して何回も刻みを行い上手になっていくことが分かり、楽しくなっていました。そして倉庫作りで上手に加工が出来組み立てた時、自分たちで加工したものが組み上がったのを見てうれしく思いました。

次に修学旅行では、仲間と旅行をしていくなかで、普段の学校では経験出来ないような体験をしました。歴史的な建物も大工学校で勉強をしていると見方が変わって見えることが分かりました。この仲間と最後に旅行が出来てよかったと思います。

この2年間自分にとってとても有意義な時間だったと思います。これからは水曜日も現場に出ることになるのでがんばりたいと思います。



## 2年間で得たもの

廣瀬 玲 弥

(株)ひろせ建築

まず初めに、2年間この濃飛建設職業能力開発校に通う機会を与えていただいた株式会社ひろせ建築の関係者の方々に感謝申し上げます。そして、丁寧に分かりやすく指導して下さいました指導員の先生方、本当にありがとうございました。

私は、高校と大学で建築関係のことは学んだことがありませんでした。大学卒業後も建築関係ではない会社に勤めていましたので、不安になる面がたくさんある中での入学でした。ですが、指導員の先生方も同期の仲間達もとてもコミュニケーションがとりやすく、すぐに不安が楽しさになりました。

この2年間で特に印象に残っていることは、破風の授業でした。現在、ほとんどがプレカットしてありますし、化粧の破風を造作したこともなかったのでどんな仕事があるか全く知りませんでした。ですが授業の中で一から作ることで、金物の仕事や母屋の位置の出し方を覚えることができましたので、現場で破風を造作する仕事があった時は、自信を持って仕事をしたいです。

ノミや鉋も、最初は使い方も研ぎ方も分かりませんでしたが、指導員の先生方に教えていただいたり、同期の仲間達と休み時間に一緒に研いだりしてだんだんノミや鉋を研ぐことが楽しくなっていました。この大工学校に通った2年間で学んだ、基礎・技術・知識などを忘れず大切に、これからの仕事に励んでいきます。2年間、とても有意義な時を与えて下さって本当にありがとうございました。

今後は、少しでも早く仕事をたくさん覚えて、一人前の大工になって会社に貢献していきたいです。

現在、職人不足の時代が続いていますし、大工という職業に関しては、技術の継承が難しい時代となっていますが、少しでも多くこれからも技術を学んで次の世代に残していけるような人間になりたいです。

## 技能検定事前講習風景



## 制 服

本校より訓練校の制服が支給されます。

訓練校にて必要な工具類は、事業所から支給されます。

## 訓練生派遣事業に要する費用

### ■事業主負担

| 区 分       | 金 額      | 備 考        |
|-----------|----------|------------|
| 訓練事業分担金   | 300,000円 | 訓練生1人/年間   |
| 入 校 料     | 5,000円   | 入校時のみ      |
| 授 業 料     | 4,000円   | 月額         |
| 傷 害 保 険 料 | 15,850円  | 2年間（希望による） |

(注)その他の必要費用

- ① 会費(会員でない場合は別に定める会費相当額)
- ② 訓練生の雇用事業所等が所在する市町村において、本校の運営費に対する助成制度が設けられていない場合は、その額(特別負担金)

## 下記の事業者へ入社する必要があります

### ■本協会加盟事業所一覧（令和7年度）

(順不同)

(有) 今井製材所 五 加  
(株) 今井木材 河 東  
(有) カネシン 上佐見  
(株) カネダイ 切 井  
(有) カネヒサ建築 神 土  
瀬 瀬 建 築 福 地  
(有) サトシ建築 黒 川  
(株) シ ン ク 神 土  
(株) 新 和 建 設 黒 川  
鈴 村 建 築 (株) 三 川  
(株) 田 口 建 築 金 山

出 合 製 材 所 坂ノ東  
長 瀬 産 業 (株) 神 土  
(有) 新 田 建 設 神 土  
(株) ひろせ建築 瑞穂市  
(有) フジイ建築 黒 川  
(株) 古田材木店 五 加  
(有) マルキ建築 黒 川  
マル共ホームズ(株) 赤 河  
(株) 丸信住宅産業 中麻生  
(株) 丸長ホーム 三 川  
(有) マルツ建築 黒 川

丸 八 住 宅 (株) 黒 川  
丸七ホーム(株) 河 岐  
(有) マ ル ヨ 越 原  
(株) ミ ノ ワ 黒 川  
(株) 三 和 木 切 井  
安 江 建 築 上佐見  
安 江 工 務 店 神 土  
(有) 山 三 黒 川  
大 和 産 業 (株) 切 井  
(有) ヤマミツ藤井建築 黒 川

●入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会又は上記の企業へお問い合わせください。

職業訓練法人

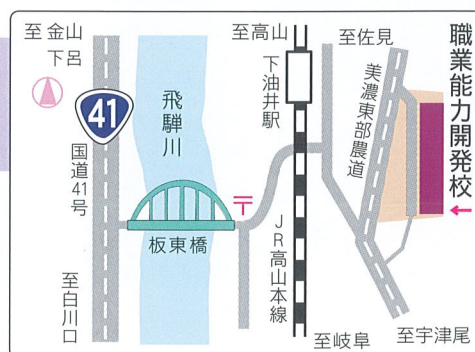
**濃飛建設事業者職業訓練協会**

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009

URL <https://www.daiku-kunrenko.com/>

E-mail [nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp](mailto:nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp)



実践技術が早く身につく  
建築技能者を目指す諸君よ 来たれ!!

働きながら実力が身につく

濃飛建設職業能力開発校

# 令和8年度 訓練生募集

**場 所** 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地  
( JR高山線下油井駅下車 徒歩5分 )

**学習科目** 建築施工系 木造建築科(2年課程)  
基礎学科・専攻学科のほか実技やコンピューターCADによる製図技法の学習など

**集合学習** 毎週 水曜日(年間／約50日)

**入校資格**

- 高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者
- 本協会加盟事業所へ雇用されていること

※当協会加盟事業所に就職し、給料を得ながら技能を習得します。

※入校を希望の方は、当協会へお問い合わせください。

## 《資格取得等》

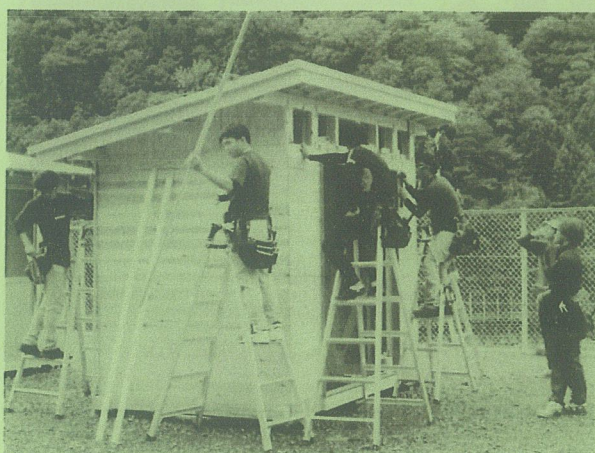
- 技能士補の資格を取得
- 技能士の資格取得に有利
- 2級建築士の受験に有利
- 職業訓練指導員の資格取得に有利
- 作業主任者免許の取得に有利



# 木造建築技能後継者を 求められておられる… 事業主の皆様へ

現在32名の協会員により順調に運営しております。本協会も29年を経過。160名の卒業生(2年間の教育課程を修了)を送り出すことができ、在校生 7 名が訓練に励んでおります。

本校へ訓練生を派遣するためには、当協会に加盟していただく必要があります。どうかこの機会に、貴社の将来を展望し、当協会へ加盟されますようお願い申し上げます。



## 当協会の会員として加盟されますと

- 若年従業員を訓練生として本校へ派遣する事が出来ます。(下記のとおり応分の分担金が必要)
- 加盟事業主が従業員を採用される場合の求人のお手伝いをします。
- 技能後継者育成に関する情報や資料を提供いたします。
- 建築 CAD や建築技能士

令和2年度技能五輪全国大会  
(愛知県国際展示場)

本校訓練生(2年生)出場



## 訓練生派遣事業主に要する費用

| 区 分       | 金 額       | 備 考        |
|-----------|-----------|------------|
| 訓練事業分担金   | 300,000 円 | 訓練生 1 人年間  |
| 入 校 料     | 5,000 円   | 入校時のみ      |
| 授 業 料     | 4,000 円   | 月 額        |
| 傷 害 保 険 料 | 15,850 円  | 2年間(希望による) |

※キャリア形成促進助成金… 訓練生が雇用保険の被保険者である場合には、その者の給料月額により、給付金が支給されます。

## 見学者歓迎 7月～8月 毎週水曜日

見学は申し込みをしてからご来校下さい。

●入校又は当協会へ加盟を希望される方は、当協会へお問い合わせください。

職業訓練法人

**濃飛建設事業者職業訓練協会**

〒509-1101 岐阜県加茂郡白川町白山1479番地

TEL 0574-79-0010 FAX 0574-79-0009

URL <https://www.daiku-kunrenko.com/>

E-mail [nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp](mailto:nohikunrenko@me.ccnw.ne.jp)

